



☆☆☆ 学びの羅針盤 ☆☆☆

# Learning Compass

きたえ ふれあう 富沢っ子

子どもたちを笑顔で迎え 笑顔にさせ  
保護者・地域に帰します！



◇教育目標：夢をもち 未来を拓く子ども

◇重点目標：人・社会・未来とつながるWell-being2022 ～学び合う・教え合う・認め合う・助け合う・励まし合う子どもの育成～

## 新聞コラム視写（書き写し学習）のススメ

校長 大野 昌広

本日で第2学期が終了します。今学期は新型コロナウイルス感染症の感染予防を行いながら、Withコロナに舵を切りました。学芸発表会や一輪車参観日等の人数制限なしの開催やPTA諸活動の再開など、保護者・地域の皆様のご理解・ご支援に心から感謝いたします。ありがとうございました。

新聞朝刊一面にある原稿用紙1枚半程度の短い文章。この短い文章は、「コラム」と呼ばれ、その新聞社を代表する秀逸な文を書く達人が担当執筆しているそうです。各新聞社はこのコーナーに名前をつけています。北海道新聞は「卓上四季」、読売新聞は「編集手帳」、朝日新聞は「天声人語」、毎日新聞は「余録」、産経新聞は「産経抄」、日本経済新聞は「春秋」。中学校の国語教師をしていた若い頃、行事のあとや国語授業の中での作文の時間に大変苦労しました。なぜなら、ほとんどの子どもたちは、作文が嫌いだからです。子どもの作文嫌いの克服は、当時の私の悩みの種のひとつでした。

数年前から新聞のコラムを視写する（書き写し）ということが老若男女問わず流行っています。コラムを書き写すことが文章上達の近道だけでなく、認知症予防などさまざまな効能があるのが理由です。各新聞社は専用ノートまで販売しています（北海道新聞の場合1か月分1冊165円）。そのほか30年ほど前の昔、私は作文授業の導入として北海道新聞のコラム「卓上四季」の書き写しをさせたことがありました。ただただ新聞記事を写すだけ。ところがどうでしょう。たかだか原稿用紙1枚半程度なのに、肩が痛い、腕が痛い、指が痛い、目が痛い…。さまざまな症状を発症する子どもたち。ほぼ全員が書き終えるまでに要した時間は45分弱。大半の子どもがこんな有様でした。なかには、授業内で終わることのできない猛者（もき）も登場。愕然としました。それがやがて回数を重ねると15分を切るようになります。8分半の子どもも出現しました。きれいに、素早く。痛みに耐えられる身体が身につけてきます。数回繰り返して、ほぼ大丈夫だろうと踏んだところでようやく作文へ。我慢や忍耐が著しく不足している子どもには、たまらなく苦痛を感じるようでしたが、ひたすら視写させることにより、すぐれた文章の文体・構成、さらに筆者の息づかいまで学び、感じさせることができ、何よりも自然に文章術を会得させることができました。

### □学ぶの語源は、「真似る」……「真似る」ことがオリジナルをつくる

「学ぶ」とは、「まねぶ→真似る（まねる）」が語源と言われています。日本の武道や芸事では、先生や師匠から基本の「型」を教えてもらい、その「型」を「真似る」ことから「学び」は始まります。さまざまな職人の世界でも「師から技を盗め」といわれます。これは師の技を「真似る」ことにほかなりません。室町時代に世阿弥が記した能の理論書「風姿花伝（ふうしかでん）」。「父「観阿弥」の教えを基に、能の修行法・心得・演技論・演出論・歴史・能の美学など世阿弥自身が会得した芸道の視点からの解釈を加えた日本最古の演劇論といわれる書です。この風姿花伝の第二章「物学（ものまね）条々」は、真似をすることの大切さを説き、稽古すべき各種の芸に対する注意が記されています。芸を高めるためには真似ること、そして、それは、自身の芸のオリジナルに通じます。

能の演技の種類について、文章で説明し尽くすのは難しい。しかしながら、申楽の世界では最も大切なことで、その種類についてよくよく工夫し練習しなければならない。だいたい、なにごとをも写實的に演じるのが本来のやり方である。しかし、また、演技の種類によっては細部まで徹底的に似せるか、簡単に似せるかの使い分けをする必要があるということを知っておくこと。

### □地道な積み重ねだけれど、学力向上に効果あり

新聞コラムの視写・書き写しは、学力向上にも効果があると言われています。日本新聞協会の調査（2020年2月）によると、日常的に新聞コラムの書き写しをしている学校では、全国学力・学習状況調査の国語の平均正答率が全国平均より小学校で1.5ポイント、中学校で3.9ポイントそれぞれ高い結果が出たそうです。科学的根拠はありませんが、私の経験では、新聞コラムを書き写すスピードと国語の成績には大いに関係があり、新聞コラムを12分以内に書き写すことのできる生徒は、評定でいうと、「5」か「4」、15分以内は「3」。早く書き写すためには、一文字ずつチラチラ見て書き写すのではなく、ある程度の文のかたまりを記憶し書き写す方がはるかに早い。これが、どのように脳と関連しているのか私にはわかりかねますが、10回ほど繰り返し行うとどの子どもにも効果があらわれはじめます。また、コラムのなかのわからない漢字や語句を国語辞典で調べさせたり、書き写したコラムにタイトルをつけさせるということも行いました。効果絶大でした。ただし、この新聞コラムの視写は、私が中学校で国語（特に中学1年生が対象）を指導していたときの話。小学生には少々難しすぎるかもしれません。新聞コラムにこだわらずに、①子どもに合った文章を選ぶ、②そのまま書き写す、③時間を決めて書かせるなど、ハードルの高さを調節しながら、無理せずコツコツ取り組ませることが肝心だと思います。冬休みに取り組ませてみてはいかがでしょうか？

明日から学校は冬季休業に入ります。年末年始の旅行やご家族・親類間の往来を計画されているご家庭も多々あるのではないかと推察します。来たるべき年の平穏をご祈念いたします。どうぞ、よいお年をお迎えください。

## 個人懇談週間

12月5日(月)からの個人懇談週間には多くの保護者の方にご来校いただき、ありがとうございました。

お子さんのご家庭でがんばっている様子、学校で成長をしている様子を共有することができ、とても有意義な時間となりました。

今年度から通知表が1年に2回となりました。お顔を見てお話させていただく機会を大切に、より綿密にご家庭と連携を図っていきたくと考えております。教育相談、懇談、随時行ってまいります。ご心配やご不明な点はいつでもお問い合わせください。

## クロスカントリースキー

12月6日(火)低学年と中学年のスキー板合わせをしました。

学校から見えるカムイの杜公園内富沢クロスカントリーコースにも、シーズンの始まりを待っていたスキーヤーたちが連日集い、スキーを楽しんでいます。



富沢っ子たちも、2月17日(金)に予定されている「クロカン記録会」まで、体育の授業や富沢タイムを利用して練習を重ねます。

スキーは「生涯スポーツ」と言われ、なかでもクロスカントリースキーは近年人気が高まっています。

北海道ならではの冬のスポーツ。楽しみながら技術を伸ばしていくことができるように指導していきます。



## 除雪教室

12月9日(金)除雪教室が行われました。特認校である富沢小学校には市内全域から児童が通っていますが、どの地域でも冬の交通安全と除雪の問題は切っても切り離せない状況です。

当日、校舎前には重機3台が並び除雪の大切さや難しさ、自分たちにできることなどを学びました。

北海道新聞やケーブルテレビポテトの取材も受けました。旭川市のSNSにもアップされていました。発信する富沢小学校です。



## 全校一輪車参観日

12月16日(金)ご来校ありがとうございました。

どの子も一生懸命取り組んでいました。

特に、高学年は、集団演技の構成も自分たちで考えました。

充実感と感動の行事となりました。



## アンケートの回答 ありがとうございました

「よりよい学校づくりのための保護者アンケート」へのご協力ありがとうございました。保護者の皆様と同じ方向を向いて教育活動を進めていきたいと考えています。今後もよろしく願いいたします。「学校配布の文書の電子化」を希望するご意見をいただきました。これまで通り、紙の配布に加えてマチコミメールを利用した電子配布も実施していきます。ご意見ありがとうございました。

## 1月の予定

1日(日) 元日  
3日(火) 学校閉庁日  
9日(月) 成人の日

### 13日(金) 3学期始業式

16日(月) 身体測定(4~6年)  
17日(火) 身体測定(1~3年)  
19日(木) スキー学習(弁当)  
20日(金) 自由研究発表会 行政相談教室  
24日(火) ふれあい給食  
25日(水) 冬の避難訓練  
26日(木) スキー学習(弁当)

学校閉庁期間(12月29日から1月3日)

の連絡先

[tomisawasho@gmail.com](mailto:tomisawasho@gmail.com)